



まちづくりイベントの開催

まちづくりシンポジウム2014

～人口減少時代のコンパクトなまちづくり～

主催：茨城県・土浦市・茨城県都市計画協会

■まちづくりシンポジウム2014

人口減少と超高齢社会の到来により、これからは日常生活に必要なサービスを効率的に提供できるコンパクトなまちづくりが求められてきています。こうした課題について、県民の皆さまと一緒に考えていくことを目的に、茨城県・土浦市・茨城県都市計画協会主催で、平成26年11月22日、土浦市民会館小ホールにおいて「まちづくりシンポジウム2014」が開催されました。

シンポジウムでは、まず、筑波大学の**大澤義明**教授による基調講演があり、続いてまちづくりの分野で幅広く活躍されている方や、地元の土浦市でまちづくりに取り組まれている方をパネリストに迎え、「人口減少時代のコンパクトなまちづくり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

当日は、県内各地から約290名の方にご来場いただき、参加者からは、「講演がわかりやすかった」、「様々な視点からの意見が聞けた」、「行政だけでなく、市民1人1人がまちづくりを考えることの重要性を認識した」等の感想が寄せられました。



○基調講演「若い世代と地方創生」

講師 **大澤 義明** 筑波大学教授

基調講演では、大澤義明講師から、「コンパクトなまちづくり」、「地方創生」について、様々な視点から解説がありました。

「コンパクトなまちづくり」については、「行政コストの面からも『成長を前提とした都市計画』から『コンパクトなまちづくり』へ変えていくことが必要」という指摘があり、「間延びした市街地にどう対応していくか」が非常に大きな課題として挙げられました。

「地方創生」については、地方創生のための条件とし



て「市民の理解を得ること」「若い世代を動かすこと」「ソトモノ目線を取り入れること」の3つが示されました。また、現在一番のネックになっている少子化問題について、意識改革を行い、地域あるいは国全体をよくしていくことが重要だという意見をいただきました。



基調講演

○パネルディスカッション

「人口減少時代のコンパクトなまちづくり」

コーディネーター

大澤 義明 筑波大学教授

パネリスト

川島 宏一 株式会社公共イノベーション
代表取締役

山本 幸子 筑波大学助教

中川喜久治 土浦商工会議所 会頭

勝田 達也 NPO法人まちづくり活性化土浦
理事長

東郷 和男 土浦市都市整備部長

パネルディスカッションでは、人口減少時代のまちづくりに必要なことについて、大澤コーディネーターと5名のパネリストに議論していただきました。

川島氏からは、「地域の魅力を高め、活性化させるためには歴史・文化・景観などの固有の価値をもう一度磨き上げることが必要」という意見がありました。

山本氏からは、「地域ごとにコンパクトなまちづくり

における『コンパクト』の定義が変わり、対策も違う」という指摘があり、「地元へ帰る若者は増えてきており、若者が帰ってきたいと思えるようなまちをつくる必要がある」という意見が出されました。

中川氏からは、「人口減少などの問題に危機感を持ち、その危機感を地域全体で共有していくことが重要」という意見が出されました。

勝田氏からは、「まちづくりのできる人づくりが必要で、そういったシステムは行政と市民の協働の中から生まれてくる」という指摘がありました。

東郷氏からは、「コンパクトシティは地域の個別の問題ではなく、市全体の問題であり、市民で共有していくべき」という意見が出されました。



茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業表彰式



パネルディスカッション

また、当日はまちづくりに多大な貢献があった団体等を表彰する「茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業」の表彰式も併せて行われ、まちづくりグリーンリボン賞については3件、まちづくりグッドサイン賞については1件が表彰されました。

○茨城県うるおいのあるまちづくり顕彰事業表彰式

まちづくりグリーンリボン賞 3件

- ・第二中学校周辺整備事業
受賞者：水戸市、株式会社パル総合設計
- ・古河「今城蔵」保存活用まちなか再生事業
受賞者：合同会社古河鍛冶町みらい蔵
- ・石の百年館建設工事
受賞者：笠間市、株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所、東鉄工業株式会社

まちづくりグッドサイン賞 1件

- ・景観に配慮した統一的な公共サインの整備
受賞者：土浦市



第二中学校周辺整備事業



古河「今城蔵」保存活用まちなか再生事業



石の百年館建設工事



景観に配慮した統一的な公共サインの整備